

幼稚園だより

—2月号—

令和7年1月31日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美



憧れの小学校

園長 金澤 里美

昨日は、ぞう組の子供たちが八広小学校で授業見学と給食体験をさせていただきました。ふれあい会や運動会、小学校の行事や交流などの際に何度も校舎内に入ったことはあったのですが、授業中の教室は初めてです。そーっと教室の後ろに並ぶと、どの子も期待と緊張が入り混じった表情で、お兄さん、お姉さんが勉強している様子を見ていました。

そして、楽しみにしていた給食です。廊下の掲示物を見て、「小学生になったらこういうふうにかけるかな。」「えー、ちょっと難しそうだな。」「でも、いっぱい教えてもらってだんだんできるようになるんじゃないかな。」などと話しながら、2階の教室へ移動しました。栄養士の先生からは、準備の仕方や、当日のメニューのこと、配膳のことなど、大きな画面に写真を映しながら丁寧に説明していただきました。「いただきます」のあいさつをしたら、自分で牛乳パックを開けます。「できないかも〜」「やったことない。」と言いながら挑戦し、「あ、こういうことか。」「できた！一人でできたよ。」「〇〇ちゃん、ここをもうちょっと引っ張るといいんだよ。」と、皆、ドキドキがだんだんうれしい気持ちに変わっていくのが分かりました。「おいしいね。」と何度も言いながら初めての給食をいただき、「憧れの小学校」を身近に感じられた時間だったのではないかと思います。

明日から2月。週明けの3日には豆まきの会があり、7日には生活発表会を行います。1月中旬頃から、毎日劇の相談などを進めていく中では、困ったことを自分たちで解決しようしたり、もっと楽しい、すてきなものにしていくためにはどうしたらいいのか、アイデアを伝え合ったりする姿が見られます。元々台本がある劇ではなく、絵本のお話をもとに、役になった人が場面に合った言葉(せりふ)を考えてきました。大人も「なるほどね」と思うような言い回しや、表現が出てきて、2年間の園生活を通して、子供たちに様々な力が身に付いていたことを実感しています。生活発表会当日はもちろん、「憧れの小学生」になっても自信をもって、自分の力を発揮してほしいと願っています。

インフルエンザや感染症などが流行する時期ですが、今年度残りの2ヶ月も充実した日々となるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

【2月のねらい】

ぞう組

- 学級のみinnで活動することを楽しみながら満足感を味わう。
- 様々な活動を通して就学への期待をもつ。